令和六年度卒業生進路状況

令和六年度の三十九名の卒業生の進路状況は、就職が二十三名、進学が十一名、その他五名です。就職については、例年通りの九月十六日に開始された就職試験において、学校あっせん就職を希望した生徒が年内にすべて内定を得るなど、内定率は好調でした。生徒は担任や就職支援教員と相談しながら就職希望先の候補を考え、職場見学を経て、受験先を決定しました。履歴書の作成、複数回の面接練習、一般常識問題や作文の対策など、生徒は真剣に準備をして受験に臨むことができました。進学については、受験先や受験種別にもよりますが、面接試験、作文・小論文、学科試験、口頭試問などの試験がありました。試験に問われる内容の量が多かったり範囲が広かったりしますが、早期に受験先を決定することと、傾向をつかみ、対策をしっかりと行うことで、効率よく準備することが大切であると合格した生徒は実感したようです。公募・指定校推薦で受験した生徒が複数いますが、そのためには校内での評定平均や欠席日数も影響してきます。就職でも進学でも、卒業生は早くから進路目標を明確にし、一年次から着実に努力を積み重ねることができたため、良い結果に結びつけられたと感じます。

卒業生のみなさんには、今後の自分の人生をよりよいものにできるように、本校での体験から得たことを存分に生かしてほしいと思います。

【令和６年度進路先一覧】（令和7年1月29日現在）

◆進　学

- ○日本大学（工学部情報工学科）
- ○いわき短期大学（子ども未来科）　2名
- ○アジア動物専門学校（動物総合学科）
- ○国際ビューティ&フード大学校（シェフ学科・美容学科・ヘアメイク学科）
- ○東北電子専門学校（情報システム科）
- ○東京ビューティーアート専門学校（ヘアメイク学科）
- ○仙台工科専門学校（情報システム学科）
- ○福島県立テクノアカデミー浜（自動車整備科）

◆就　職

- ○㈱ニッカネ　2名
- ○㈱アイデン
- ○㈱メディエンス
- ○㈱フィアビラジャパン
- ○㈱東京エネシス
- ○小名浜造船㈱
- ○エア・ウォーター・リアライズ㈱
- ○㈱ありがとうカンパニー
- ○古藤工業㈱　2名
- ○㈱いわきの里
- ○㈱葵会
- ○安井総建
- ○㈱サンシートレーディング
- ○㈱光栄建設
- ○㈱ツクイ
- ○日東電工㈱
- ○㈱ファルテック
- ○㈱三洋鉄工所
- ○㈱マルベリィ
- ○㈱アイナバ
- ○㈱Ｌａｖｉｅ

学年主任の先生方より

進路活動を通して

三学年主任　蛭田かおる

進路活動を通して、生徒の皆さんは本当に成長したと思います。一、二年次では、企業見学や職業人インタビューのおかげで進路意識を高めることができました。でも、進路を自分のこととして意識したのは三年生になってからではないでしょうか。

七月から企業見学が始まり、スーツ着用、正しい言葉遣い、学校への連絡、報告書作りなど、今までやったことがないことを経験しました。その中での一番の難関はお礼状書きでした。最近の高校生は、便箋に手紙を書いたり、それを封筒に入れて切手をはり、郵便局に行き、郵送するということをしません。そのため、お礼状を書いて送るのに相当な時間がかかりました。人生で初めて便箋を使った人もいました。おかげで、文字を正確に丁寧に書くことを覚えることができました。面接の練習では、多くの先生方にお世話になり、自己ＰＲ、高校生活でがんばったことを言えるようになり、敬語の使いかた、あいさつの仕方を学ぶことができました。そして、面接の練習をしてもらうために、担当の先生にあいさつに行き、面接の日時を予約し、合格した際には、その報告と感謝の気持ちを伝えるということをしました。

これまでは、知らない先生とは話すことができなかったり、自分の長所、短所を人前で言うことができなかった生徒の皆さんも、進路活動を通して、一年次、二年次とは比べものにならないほど成長しました。私が一番印象に残ったことは、夏休み中でも暑い中、汗だくになり、教室でお礼状を書く姿です。あの頑張りがあれば、生徒の皆さんの将来は大丈夫だと信じています。

1年を振り返って

二学年主任　遠藤　和一

この「進路だより 最終号」は三月一日発行ということですが、皆さんはこの日付の持つ意味が分かるでしょうか？

無事に単位を修得できたと仮定すると、来年の今日、つまり令和八年三月一日に皆さんは本校を卒業することになります。「なぁ～んだ、そんなことかぁ。わかりきっているよ」という返事が返ってきそうですが、本当にこの意味が分かっていますか？

皆さんはあと一年もすれば、皆さんの準備ができていようがいまいが関係なく、社会へ旅立たなければなりません。就職希望者はもちろん、進学希望者も、高校を卒業した時点で社会からは大人として扱われます。さて、この当たり前すぎる事実を踏まえてこの一年間を振り返った時に、皆さんは自分の学校生活についてどのような感想を持つでしょうか？

二学年は、世間的に中だるみの学年とよく言われます。皆さんはどうでしたか？

しかしながら、将来を見据えてこの二学年の意味を考えたとき、非常に重要な期間だと気づくはずです。三年次の進路活動を見据えてしっかりと準備をすべき期間、これが学校生活における二学年の意味です。この二学年時の学校生活の過ごし方により、三年時の進路活動の成否が決まるといっても過言ではありません。言葉を繕わずに有り体に述べてしまえば、就職試験にしろ進学試験にしろ、合格、不合格が必ず出るという意味において、それは競争です。さて、皆さんは競争に勝ち抜くだけの準備はできましたか？

このように述べると、皆さんの中で「まずい、準備ができていない…」とか「焦る…」等の感想を持つ人が多いだろうと思います。

しかし、振り返ってみてください。実はこの一年間、皆さんは具体的に進路について考える機会はたくさんありました。例えば、二者、三者面談をはじめ、進路の先生との面談、会社・上級学校見学、会社の方による進路講話、四大・短大・公務員志望者を対象とした模試や課外授業、そして、「職業人インタビュー」…。このような様々な進路関連の行事を潜り抜けてきた皆さんは、明らかに一年前とは顔つきも言動も異なってきています。自分では全然変わったように思えないという人もいるでしょうが、これらの進路行事をはじめとした学校生活が無意識のうちに皆さんを鍛え上げた結果だろうと思います。競争で支えになるのは、自分は努力をしたという意識的な思いです。これからは、「自分は頑張った！」と自覚できるような学校生活を送ってください！

さて、残すところ、学校生活もあと一年。皆さんはどのように過ごしますか？

「終わり良ければすべてよし！」ということわざがあります！

卒業に向けて頑張っていこう！

最後は、「気合」と「根性」ですよ！

一学年主任　小島　香

六月に「進路の日」があり、一年生は事前アンケートをもとに興味のある分野を選んで、専門学校の体験授業を受けました。きらきらと目を輝かせて、スポーツカーの周りに集まったり、パーマのロット巻きの実習に参加したりしている姿が印象的でした。高校生になったばかりなのに、もう卒業後の進路かと思った人もいたことでしょうが、プロフェッショナルになる道を多少なりとも知る機会になったと思います。

ロングホームルームの時間には、自分の適性を知り、長所を生かせる仕事を見出すための活動をしています。一日の生活の振り返りや、得意な教科や没頭できる趣味などから、自分を客観的に見つめたりしてきました。遅かれ早かれ社会に出る日はやってきます。自分の好きな仕事に就くには、不得意なことを克服する努力も必要です。日々の生活はトレーニングですから、失敗を恐れず、むしろそこから学び、少しずつ成功体験をしていくことが大切です。ハローワークや企業の方のお話を聞く機会も設けましたが、どんなことを学びましたか。入学して一年が経とうとしています。進路決定は遠い未来の話ではありません。一日一日を大切にして、学校生活を送ることが、自分を生かす進路目標を決めること、それを達成することにつながります。

生徒の皆さんはこの一年でめざましい成長を遂げました。経験を通し自分の資質を磨き、それらを強みにして社会に出ることができるよう、ご家庭と協力してまいります。進路についてのご相談がありましたら是非お聞かせください。

令和６年度進路行事

5月31日（金）
着こなし講座
（昼卒業年次・夜全員）
〔洋服の青山いわき平店〕

6月14日（金）
進路の日
1年次　進路体験発表（卒業生21学年）、進路ガイダンス
2年次　学校コース
　医療創生大学
　いわきコンピュータ・カレッジ
　企業コース
　常磐共同火力（株）
　常磐興産（株）スパリゾート
　ハワイアンズ
3・4年次　進路ガイダンス、模擬面接
　［ライセンスアカデミー］

8月30日（金）
就職準備講習会（卒業年次）
〔（株）飛馬、ハローワークいわき〕

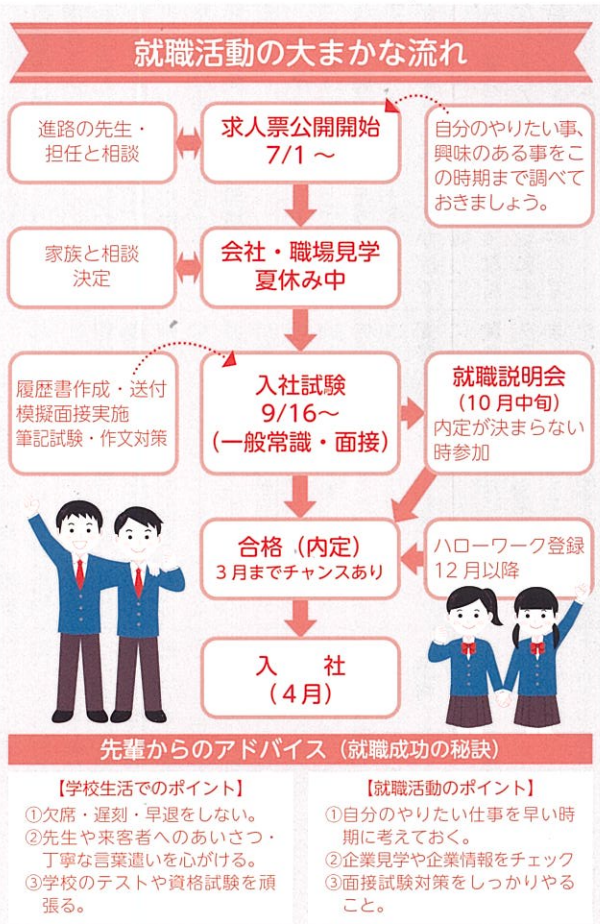
9月13日（金）
職業講話（昼1年次）
〔ハローワークいわき〕

10月11日（金）
職業講話（昼2年次、夜全員）
〔キャリア支援機構、
東洋ワークセキュリティ（株）〕

12月6日（金）
職業講話（昼1年次）
〔キャリア支援機構、
八幡台やまたまや〕

2月5日（水）
就職ガイダンス
（昼2年次、夜1・2年次）
〔ランゲート（株）〕

就職活動の大まかな流れ



先輩からのアドバイス（就職成功の秘訣）

【学校生活でのポイント】
①欠席・遅刻・早退をしない。
②先生や来客者へのあいさつ・丁寧な言葉遣いを心がける。
③学校のテストや資格試験を頑張る。

【就職活動のポイント】
①自分のやりたい仕事を早い時期に考えておく。
②企業見学や企業情報をチェック
③面接試験対策をしっかりやること。

令和六年度 就職をふりかえって

就職支援教員　山崎雅弘

就職支援教員として三年目を迎えました。今年度も求人数は多くてハローワークいわき管内の有効求人倍率は八月末で二・八五倍ありました。コロナ後に続く売り手市場と言える状況のもと就職試験に臨み、二十三名が内定をいただきました。職種別では製造十一名、サービス五名、介護四名、電気工事一名、建設二名ですべて県内（うち市内二十二名）に残って働くということになりました。最近の傾向で地元志向が強いようです。

さて、今年度の就職活動ですが、新しく求人票閲覧システム「Ｈａｎｄｙ進路指導室」というものを取り入れたことによって、タブレットやスマートフォンで職種や自宅からの距離などで検索が出来て、求人票を見ながら家庭でも検討できるようになり大変便利なため好評で、これまで目につきづらかった企業への就職を決めた例が複数ありました。これからも、便利なツールを活用して生徒自身が多くの選択肢から働きやすいと思った企業を選ぶことによって、ストレス無く働け、離職率が下がることを願います。

今年、私自身が企業訪問やアドバイザー会議に参加する中で、少子化が進み、働き手の確保というのは社会全体の問題であり、その中でも高校生や大学生の若い世代の人材確保は企業にとって大きな課題であることを強く感じました。対策として産業界や県・市などが地元の労働者を確保するために様々な工夫をしています。たとえば、高校生と保護者を対象にした地元企業説明会や新規高卒者等就職面接会などが各地区で開催されていることや、いわきの会社の魅力を見つけるポータルサイトや企業ＰＲ動画の配信なども されており、企業と高校生・大学生をマッチさせるために参考となるコンテンツは積極的に活用するべきで、これからも情報提供をしっかりしていきたいと思います。本校生は自分から企業について知る行動を起こすのが遅いために情報不足のまま就職先を選ぶということが多いため、早期の離職につながることになってしまいます。今後の本校の進路指導として、情報提供に加え、アルバイトによる働く体験の推奨やインターンシップの実施を検討するなどキャリア教育の課題解決を目指していく必要性を感じているところであります。

そうとはいえ、企業が求める人材というのは時代を超えて変わっておらず、元気に挨拶ができ（コミュニケーション）、簡単に辞めない（継続性）、素直な生徒を求めています。決して難しいことではありません。人手不足であっても働き手として期待が持てない人材は採用しないと担当者は口をそろえて言います。普段の生活から職業人として給料をいただくにふさわしい人材となることを常に意識して生活することを期待します。